

NPO法人

全日本語りネットワーク

〒376-0006 群馬県桐生市新宿1-4-33
(Fax) 0277-43-8225 (振替) 00130-2-114808
(E-mail) welcome@japankatarinet.jp
(HP) http://japankatarinet.jp/

2016. 4. 17 発行

ニュース

お出かけください。出雲かんべの里（民話館）へ

とんと昔のお話会代表 安部 光江

今回は民話を楽しめる公営施設出雲かんべの里を紹介いたします。ここは松江市大庭町にあり、JR松江駅からバスで約25分です。周辺は緑に囲まれ、春はウグイス、夏には蝉の鳴き声にあふれ、とても癒やされます。またイザナミノミコトを主祭神の神魂神社は歩いて数分です。そして出雲かんべの里の正面は神名樋山である茶臼山が聳えています。



出雲かんべの里民話館

出雲かんべの里の名称は『出雲国風土記』に出雲神戸（いずもかんべ）と書かれたことに由来します。オープンは平成6年4月。昨年20周年を迎えました。ここは郷土の自然や文化に触れたり体験のできる教育文化施設で工芸館、民話館、自然の森、かんべ茶屋の四つに分かれています。

まず工芸館ですが、籐工房、機織り工房、陶工房、和紙手まり工房の5工房があり、工芸作家の工芸制作の見学や作家の指導によるものづくりの体験学習ができる他、作家独自の作品を求めることができ、来館者には喜ばれています。

工芸館横の「かんべ茶屋」では、地元の素材をふんだんに使った素朴で懐かしい田舎料理と手打ち蕎麦を食べることができる人気の茶屋です。

自然の森には、ツリーデッキやピザ窯があり、美味しそうな匂いがあたりに流れています。周辺には季節折々の樹木、生物を観察できる自然散策コースや、市内が一望できる展望台があります。また月に一度プレーパーク遊びの場所として使用されています。「危ない」「だめ」「汚い」等と大人がなるべく言わないで、子どもが自由に遊んだり、木のおもちゃ作り、芋を焼いたり時間を忘れて自然と親しむことができます。

民話館では、酒井董美氏監修の小泉八雲の怪談「耳なし芳一」の立体映像が鑑賞できます。また出雲地方に伝わる武蔵坊弁慶伝説や出雲神話、小泉八雲をパネル映像などでわかりやすく紹介しています。



むかしばなしの部屋

そして語りの部屋では、とんと昔のお話会による語り部が、毎日一人ずつ交代で勤務しています。昔、子どもころよく聴いた山陰地方の民話や、暮らしを彩る伝統行事にちなんだ話を出雲弁で語り継いでいます。一方、子ども語り部の育成にも力を入れ、イベントには子ども語り部が積極的に語っています。その他安来節のドジョウすくい踊りの由来でもある「鼻そげ権兵衛」、神話で有名な「八岐大蛇」、松江大橋作りにまつわる悲話「源助柱」など、手造りの紙芝居、影絵、スライドなどで来館者に楽しんでいただいています。

出雲かんべの里が今後とも人々に愛されるよう私たち一同、努めたいと思っております。

みなさま、ぜひ出雲かんべの里民話館をお訪ねください。お待ちしております。